

6万会員のための情報紙

県P情報

やまなし

No.126

2016(平成28)年
10月1日

●発行/山梨県PTA協議会 会長 進邦 徹夫 〒400-0031 甲府市丸の内三丁目33-7 TEL.055-228-1342
 ●編集/山梨県PTA協議会 情報委員会 ●印刷/株式会社GRANT

題字 渡辺 慧仁(PTA元全副会長)

ひらく・つながる・ひろがる
 ～子どもたちの健やかな成長を願って～



平成28年度
 山梨県PTA協議会
 会長 進邦 徹夫

みなさま、はじめまして。

6月4日の定期総会においてご承認をいただき、平成28年度山梨県PTA協議会会長に就任いたしました。今年度は、「ひらく・つながる・ひろがる」をスローガンとして掲げました。山梨県内の各小中学校PTA(単位PTA)と各都市PTA、そして県PTA協議会が効果的に連携していくことを言葉としてイメージしたものです。

かかる連携の必要性は、わたし自身がPTA活動に携わ

るようになってから感じていたものです。また、昨年度の定期総会でお認めいただき、今年度より協議会費を60円値上げ(120円から180円)させていただいたことも、連携を課題として強く意識するきっかけになりました。山梨県によれば、0～14歳の人口は、2015年を100とした場合、10年後には79、20年後には67になり(山梨県人口減少対策戦略本部)、少子化は加速的に進むとされ、PTAには、少子社会に相応しい運営が求められていくことになります。さらに、近年マスコミでも大きく取り上げられているPTAの在り方(加入の任意性の議論など)についても視野に入れた、単に組織や活動を減じるといった外形的な改革にとどまらない議論が必要になってきます。

折しも7年後の2022年、日本PTA関東ブロック研究大会を山梨県で開催されることが予定されています。これを期に、単位PTA、都市PTA、県PTA協議会が有機的につながり、子どもたちの健全な育成に資する組織たるべく議論を進めていきたいと考えています。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

第4回山梨県PTA大会

- テーマ 子どもたちと向き合う時間を増やすために
- 日 時 11月26日(土)午後1時～3時30分
 - 会 場 ジット甲府プラザ
 - 内 容 講演・パネルディスカッション
 講師 藤田博康氏
 (山梨大学大学院 教育学研究科教授)

単P会長予定者研修会

- 日 時 平成29年3月4日(土)
 午後1時20分～4時15分
- 会 場 桃源文化会館
- 講 師 阿刀田高氏(山梨県立図書館館長)

日本PTA国内研修事業 参加者募集

全国の中学生が宿泊活動で交流し友情を深めるとともに、研修を通じて多様な文化、平和について理解を深める。

- 期 間 平成29年3月26日(日)～30日(木)(4泊5日)
 - 場 所 沖縄県渡嘉敷島
 - 対象者 中学2年生各県男女1名
 - 参加費 5.5万円/一人(個人負担)
 - メ 切 10月24日(月)
- 【申込み・問合せ】 詳しい内容を知りたい方は県PTA事務局に。
 TEL.055-228-1342

市川三郷町立市川中学校PTAに栄冠 ～広報紙コンクール～ 5月14日 甲府市南部市民センター

審査の結果、次のPTA広報紙が選ばれました。受賞校は県P大会にて表彰いたします。

広報紙の内容や読みやすさ、レイアウトなどを審査しました。最優秀賞に選ばれた市川三郷・市川中PTAの「飛躍」は「市中生に送るエール」と題した特集で、高校生や大学生、社会人になった卒業生8人から中学生へのアドバイスを見開きで掲載。企画のアイデアや、PTA活動を中心とした紙面構成を評価しました。

(審査委員長 山梨日日新聞社 読者センター長 八巻信也 氏評)

- 【最優秀賞】市川三郷町立市川中学校PTA広報紙 「飛躍」
- 【優 秀 賞】北杜市立長坂小学校PTA広報紙 「なかま」
- 【奨 励 賞】甲州市立塩山北小学校PTA広報紙 「北辰」
- 北杜市立高根東小学校PTA広報紙 「のぞみ」
- 甲府市立北中学校PTA広報紙 「北陽樹」
- 甲府市立南西中学校PTA広報紙 「いちよう」



最優秀賞に輝いた
 市川三郷町立市川中学校PTA
 「飛躍」(写真左)

平成28年度 定期総会開催

～平成28年6月4日(土) 桃源文化会館～

県教育長 守屋 守様をはじめ、多くの来賓をお迎えし開催されました。

事業及び決算報告の承認後、進邦徹夫新会長が選任され、会長から今年度のスローガン、活動方針と共に具体的活動が示され、事業計画・予算・役員等の案件と共に承認されました。



平成28年度 事業計画

【スローガン】

ひらく・つながる・ひろがる

～子どもたちの健やかな成長を願って～

【活動方針】

- 1 子どもたちの健やかな成長を願い、親や家庭の役割を再認識する場としてのPTA活動を推進する。
- 2 会員相互の結びつきを強め、資質向上を図り、諸課題に対応できるPTA活動を推進する。
- 3 学校・家庭・地域社会の連携強化に努め、各単位PTAを支援する活動を推進する。
- 4 日本PTA全国協議会(HP)、関東ブロックPTA協議会(関ブロ)、県・郡市・単位PTA(単P)、及び教育諸団体と連携し、教育条件整備を推進する。

【具体的活動】

- 1 山梨県PTA協議会の運営(総会・理事会・諸会議及び委員会)
- 2 調査研究・情報収集・教育相談事業
- 3 学校・家庭・地域社会教育に関する研修会や講演会活動
- 4 PTA活動(社会教育)に関する表彰事業
- 5 学校・家庭・地域教育・安全教育に関する広報・啓発活動
- 6 教育・行政・日本PTA等教育関係機関との連携施策提言事業

第64回日本PTA全国研究大会 徳島うずしお大会
8月20日(土)～21日(日)

「徳島発!渦巻く力を これからの社会に果立つ子どもたちのために～まけまけいっぱい愛を注ぎ込もう!～」の大会スローガンのもと、8月20日、21日に徳島県で開催された、第64回日本PTA全国研究大会に、山梨県PTA協議会から代表団11名が参加いたしました。

1日目は、7つの分科会が徳島県内7会場で開催され、基調講演、実践発表、研究討議が行われました。私は第2分科会「家庭教育・健康安全」に参加し、「食育を通して健やかな子供を育てるPTA活動のあり方」を研究課題として討議しました。料理研究家でテレビ出演も多い浜千波さんが基調講演を行い、食の生産者である農家、学校の栄養教諭、健康管理を指導する管理栄養士、家庭料理を作る親がパネリストとなり討議をしました。食材を生産する農業体験や台所に立って調理をすることが子供たちの食育には特に重要であることを再認識させられました。

2日目は、アスティとくしまで、全国から約5千人が集い全大会が開催されました。開会式後にマンガ家で京都精華大学学長の竹宮恵子さんによる記念講演が行われました。「子供に創造力をつけさせる努力をさせ、そこに親が力を入れなければいけない。想像力はみんな違うもの。親の価値観で子の想像力を判断してはいけない。」という言葉が印象に残り、子供へ想像力をつけさせることは人生を大きく変えていく要素だと感じました。

♪踊る阿呆に見る阿呆 おなじ阿保なら踊らにゃそんそん♪と唄われるように、阿波踊りも体感できました。また、郡市、単Pの活動や課題など参加した11名で意見交換ができた資質向上が図られました。大会スローガン「まけまけいっぱい」とは「あふれるほどたくさん」という四国地方の方言ですが、その言葉どおり、徳島だけに「濡れ手でアワ(粟)」の研修ができた有意義な研究大会でした。

前田友也(南アルプス市・豊小P)



平成28年度 県P常任理事・監事役員

【会長】 進邦徹夫 上野原西中P

【親子安全会会長】 石原初江 玉諸小P
【扶助会会長】

【副会長】

甲 府 石原初江 玉諸小P 中巨(東部) 田中浩二 竜王北中P
 峡東(山梨) 内藤 沸 岩手小P 峡 南 佐野博樹 身延小P
 峡北(北杜) 齊藤加代子 明野中P 南都留(南都留) 飯高明夫 河口湖北中P
 北都留(北都留) 関口昭子 上野原中P 校長会 中川貴志 大國小T
 全県代表 前田友也 豊小P 母親代表 中島智子 伊勢小P

【常任理事】

中巨(南ア) 三浦聖人 白根百田小P 峡東(甲州) 手塚 武 井尻小P
 峡東(笛吹) 三枝輝男 一言南小P 峡北(韭崎) 内田 晃 韭崎小P
 南都留(吉田) 小俣孝行 吉田小P 南都留(都留) 谷内健一 禾生一小P
 北都留(大月) 黒部高史 大月東中P

総務委員長 佐野 誠 上条中P 母親委員長 小笠原悠子 秋山小P
 企画委員長 内田 晃 韭崎小P 情報委員長 手塚 武 井尻小P
 安全会扶助会委員長 佐藤文泰 道志中T

【監事】

教職員代表 渡邊正司 西原小T 保護者代表 丹澤由香子 山梨南中P
 保護者代表 小林且宣 大 月

※その他の理事役員はHPでご覧ください

特集

子どもたちとのふれあいを大切に! パートI

心豊かに、健やかに、そして主体性のある子どもへと導く、大人から子どもたちへのメッセージ。「励ましの言葉」「やる気を引き出す言葉」「自信につながる言葉」、子どもたちへ、一歩前に踏み出す勇気を奮い立たせる大人からの温かい心からのメッセージを寄せていただきました。

学校生活で

朝の登校指導

気持ちのいい児童・生徒のあいさつに



(校長先生から)

しっかり立ち止まって、大きな声であいさつできるようにになりましたね。嬉しいです。

(保護者から)

登校時に見かけるみんなの元気な「おはようございます」の声。100m以上離れたところでもその声が届いて、一日が気持ちよく過ごせます。

1学期終業式「おわりの言葉」

がんばった児童へ



(教頭先生から)

しっかり生活できました。全員で拍手をしましょう。(パチパチ)6年生がリーダーとして頑張ってくれました。1~5年生、拍手をしましょう。(パチパチ)すてきな1学期をありがとう。

一生懸命に掃除をする児童に



(養護の先生から)

4月よりもほうきの使い方が上手になったね。ゴミをしっかりとめられているね。

努力を積み重ねることの大切さを、子どもたちへ



(保護者から)

人は皆努力の壺を持っています。努力を積み重ねると壺にたまっていくますが、すぐには一杯になりません。努力が壺からあふれるほどたまった時できるようになるのです。

泣き出した子どもへ、



(先生)

「いやなことがあったんだね。」とまずは思いを受け止める言葉がけ。

家庭生活で

朝食のとき、子どもからかけられた「おはよう」に



(父親から)

〇〇(名前)の「おはよう」のあいさつがいつも元気だから、お父さんまで元気になるよ。

「あんまり役に立たないよね」と言いつつ、お手伝いしてくれた子どもへ



(親から)

手伝ってもらうと、仕事がかたどるし一緒にできるとても楽しいよ。またお願いします。

家の掃除を手伝ってくれた子どもへ



(親から)

きれいになって気持ちいいね!お掃除も早く終わったし、ありがとう。

そっと弟を手助けする子どもへ



(母親から)

きのう、〇〇(弟)の宿題を見てくれたんだってね。〇〇から聞いたよ。ありがとね。

夕食の片付けをしてくれた子どもへ



(母親から)

洗い物をお願いしてくれて、ありがとう。お母さん仕事で疲れていたから、助かったよ。おばあちゃんも喜んでたよ。

留守番をしてくれた子どもへ



(保護者)

「お留守番をしてくれて助かったよ!ありがとう!」と「ただいま」に続く感謝の気持ち。

各郡市Pからの活動報告 (14地区中7地区)

中巨摩東部地区 田中浩二(竜王北中P)

中巨摩東部PTA連絡協議会は、甲斐市(小学校11校・中学校5校)、中央市(小学校6校・中学校2校)、昭和町(小学校3校・中学校1校)の2市1町で構成されています。各市町において、子どもたちの健やかな成長を願い、各単位PTAが連携をとりながら活動を行っています。なお、平成29年度から中巨摩東部は、甲斐市単独と中央市・昭和町の連合体の2つの組織に細分化する改編が行われることとなっております。

笛吹地区 三枝輝男(一宮南小P)

笛吹市PTA連合会は19の小中学校PTAで構成されています。「あいさつ 聞き方 言葉遣いーきらめき ひびきあう ふえふきの子〜」をスローガンに掲げ活動をしています。市PTA連合会主催の研修会を通じて、各単位PTAが相互に教養を高めあっています。また、義務教育振興会において、子どもたちと地域社会のあるべき姿を求め、今日的な教育課題の解決に向けた取組を進めています。

韮崎地区 内田 晃(韮崎小P)

韮崎市PTA連合会は、5つの小学校と2つの中学校から構成される県内で最も小規模な組織です。毎年各校の学習環境改善に取り組んでおり、これまでにおおくの要望事項が実現しております。また、市の教育委員会のご協力により2年に1度教育講演会を設けており、今年度は親も子も何かと忙しい昨今、親子のふれあいについて真剣に向き合う事を題材に「仲島 正教」氏の講演を12月に実施いたします。

北杜地区 齊藤加代子(明野中P)



北杜市PTA連合協議会では、教育環境整備のための要請活動に取り組んでいます。保護者メンバーからは、どのように要望を伺い上げるのが、要望は実現されるのかなどの意見が出され、50年以上継続されている取り組みであり、実現困難と思われていたことが年数を経て実現されてきていることなどを経験豊かな先生方から説明いただきました。次代を担う子どもたちのために今年もしっかりやり届けようという想いでまわっています。

富士吉田地区 小俣孝行(吉田小P)



富士吉田市PTA連合会は、小学校7校・中学校4校で構成されお互いに連携し合い運営しています。6月には毎年恒例となっている市P連覇卓球大会が行われ400名を超える方が参加し、バレーボールを楽しみながら大いに朝顔を深めました。また10月には市内小中学校一斉「あいさつ運動」を地域の方々と協力して行い、朝登校する子供たちにあいさつ・声かけをする予定です。学校・地域・行政一体となった活動を目指しています。

南都留地区 飯高明夫(河口湖北中P)



南都留PTA連合会は小学校14校と中学校7校で構成されています。また、南都留地区PTA連絡協議会においては、郡内地域の小中学校43校で構成されています。郡Pでは、6月に富士河口湖町PTA連合会、町教育センターと共催で鈴木由美先生をお招きし、講演会を開催しました。地区Pでは、義務教育振興会講や「教育フォーラム」などの協力を行い、郡内地域PTAの連携を回り、子供たちの健全育成を目的に活動を進めています。

北都留地区 関口昭子(上野原中P)



北都留小中学校PTA連合会は、小学校7校と中学校5校で構成されています。学校の適正配置に伴う組織機構の見直しによる新体制が整い、会議回数減等の事業のスリム化を実現する中、限られた時間内で円滑な活動ができるよう努めます。また、県PTA等の研修会へ参加し、学校・家庭・地域の教育力の充実を図っていきます。そして、相互の理解・協力・連携の輪を広げるため、防災対策等意見交換し、共に学びあい、支援し合う活動を展開します。

親子安全会・扶助会だより



山梨県PTA親子安全会
山梨県PTA扶助会
会長 石原 初江

親子安全会・扶助会は山梨県PTA協議会の事業の中の一つです。主な活動としては、「地域の宝」である大切な子どもたちと会員みなさまの不慮の事故に対する見舞金および厚生援助金の給付、また、健康安全活動や福祉増進の取り組みに対しての助成など、PTA活動や学校へ積極的にサポートする取り組みを行っております。

給付申請の詳細については各学校より配付されている「親子安全会見舞金制度の手引き」をご参照ください。県PTA協議会ウェブサイトにもありますのでご覧ください。

本紙では平成27年度に発生した事故や怪我等の状況別の件数を掲載しています。昨年度は1,737件の申請があり、総額26,845,712円の見舞金の給付と6,200,000円の厚生援助金の支払いを行いました。

見舞金の給付に当たっては年9回の審査運営委員会・認定委員会を開催し、各郡市代表の校長先生をはじめとする16名の委員と医師1名、事務局2名で公平・公正で迅速な給付の徹底を図るよう努めております。

本年度から見舞金の申請期間が、怪我等の発生日より2年間(昨年度までは1年6ヶ月)までに延長となりました。詳しくは各学校・山梨県PTA親子安全会事務局にお問い合わせください。

今後とも会員みなさまの本事業へのご支援ご協力をお願いいたします。

平成27年度親子安全会・扶助会報告

申請原因別件数

(全1,737件中上位10項目)

けがの原因	件数
1 球技による事故	480
2 遊んでいての事故	354
3 その他	159
4 転倒による事故	147
5 自転車による事故	123
6 交通事故	107
7 病気死亡	55
8 格技による事故	52
9 ドア、ガラス等による事故	50
10 遊具による事故	47
10項目合計	1,574

申請種類別件数

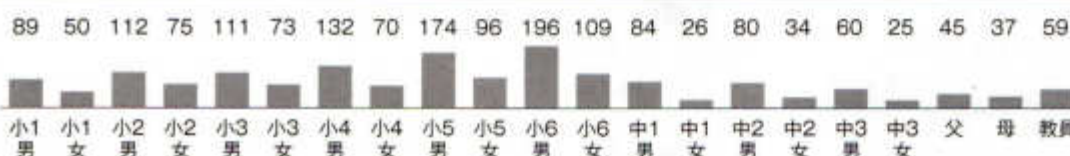
(全1,737件中上位10項目)

けがの類別	件数
1 骨折	754
2 捻挫	282
3 挫創	143
4 打撲	108
5 挫傷	74
6 損傷	71
7 その他	60
8 病気死亡	55
9 切創	52
10 熱傷	31
10項目合計	1,630

郡市別申請件数・見舞金額

郡市	件数	金額
甲府	315	5,206,120
中巨摩	391	6,660,630
甲州	89	1,158,306
山梨	114	1,084,482
笛吹	100	2,031,166
峡南	165	2,094,664
韮崎	63	985,060
北杜	109	1,850,488
吉田	127	2,160,536
都留	74	844,630
南都留	121	1,865,070
大月	17	270,430
北都留	52	634,130
合計	1,737	26,845,712

学年別・性別申請件数



扶助会報告

平成27年度は62名の保護者の方がお亡くなりになり、扶助会から総額6,200,000円が支払われました。

山梨県教育四者教育相談員連絡会

相談会場等案内 ■相談時間 午後1時30分～5時

※相談は無料です

地区	会場	住所	TEL	相談曜日	相談員
東山梨	東山梨教育会館	甲州市場山千野3421	0553-33-2635	随時対応	依田 一秀
笛吹	笛吹市教育会館	笛吹市八代町南438-2	055-265-2117	随時対応	角田 修
峡南	峡南教育会館	南巨摩郡富士川町鯉沢795-4	0556-22-1500	随時対応	熊谷 正
中巨摩	中巨摩教育会館	南アルプス市西野1294	055-282-5070	随時対応	渡邊 正義
北巨摩	北巨摩教育会館	韮崎市若宮2-6-26	0551-22-0540	随時対応	仲田 俊朗
南都留	南都留教育会館	富士吉田市下吉田886	0555-23-6151	随時対応	奥脇 義徳
北都留	北都留教育会館	大月市大月2-8-29	0554-22-1811	随時対応	近藤 高利
全 県	山梨県教育会館	甲府市丸の内3-33-7	055-228-1342	随時対応	佐野 貴宣 依田 良文

平成27年度 教育相談の状況

教育四団体は、PTAが事務局となり教育相談室を開設しています。退職教員が県教育委員会から任命されています。子育てに関わる悩みや心配事等気軽にご相談下さい。

相談者数内訳

①相談対象件数

*()は電話相談 内数

小学生	中学生	幼児	高校生	一般	合計
69(11)	20(5)	0(0)	1(0)	2(0)	92(16)

②延べ相談者数

本人	父親	母親	祖父母	教師	養護教諭	その他	合計
1	5	59	5	35	0	0	105

編集後記

山梨県PTA協議会情報紙126号の発行にあたり、関係者の皆様並びに情報委員の皆様にご協力頂き、感謝を申し上げます。情報紙として、県PTAの活動や行事、各郡市PTAの情報などを掲載し、より多くの方にご理解をいただければと思っております。また、子供と大人のつながりを大切にしていけるように、特集も組まれています。情報紙が活用されるように、今後も編集していきますので、宜しくお願い致します。

情報委員長 手塚 武